

力いっぱい引き抜いて大豆を収穫



岩邑小学校の6年生49人が、11月19日に大豆の収穫を体験。児童らはグループごとに分かれて、立派に実った大豆を力いっぱい引き抜いていました。この大豆は、乾燥後、授業でみそや豆腐作りに利用する予定です。

太鼓の音や振動にびっくり



11月12日、長島保育園に和太鼓奏者の加藤拓三さん(大井町)が訪れ、園児の目の前で太鼓を演奏しました。園児らは、太鼓の大きな音や振動にびっくり。「すごい」「お腹に響く」などと言いながら拍手をしていました。

ユズの香り漂う笠置町のゆず祭り



笠置コミセンで11月24日、第3回笠置ふるさとゆず祭りが開催されました。会場は、ユズ玉品評会やユズの詰め放題、ユズ加工品の販売などユズづくし。来場者は、ユズの香りが広がる会場でユズを堪能していました。

恵那農高と釜石が釜恵バーガーを開発



11月23日、恵那農業高校で農高祭を開催。生徒は、同校と岩手県釜石市の移動販売者が開発した釜恵バーガーを販売。恵那の野菜や釜石のサケのすり身などを使ったハンバーガーで、多くの人買い求めていました。



人とまち
恵那の今を
お届けします



小学生が特産の細寒天作りに挑戦
12月5日、長島小学校の4年生90人が山岡町特産の寒天を学びました。これは、社会科の「特色ある地域のくらし」として行われたもの。
この日は、佐々木善朗さんの寒天工場を見学。児童たちは、突き出し作業に挑戦しました。寒天を突き出して糸状にする作業は、棒を押し一方で、ゆっくり天筒を引くのがポイントです。
その後、寒天ラーメンの試食や山岡小学校との交流など、山岡町の特産を楽しく学びました。

募集中

2月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。写真(なるべく1人で胸から上で顔全体が写っているもの)の裏に住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、両親の氏名、30字以内のコメントを添えて、1月15日(火)までに申し込んでください。またケーブルテレビ放映の可否についてもご記入ください。申し込み多数の場合は先着順により掲載します。

□申し込み・問い合わせ
〒509-7292(住所不要)
企画課広報広聴係
☎26-2111(内線319)

保男さん・佳代さん
一歳おめでとう♡笑顔いっぱい優しい子に育ってね。
岩村町
吉村 麻耶ちゃん

崇さん・貴子さん
生まれてきてくれてありがとう。新しい成長を楽しみにしています。
長島町
鶴飼 新くん

誠さん・洋恵さん
一歳おめでとう♡お姉ちゃんと元氣いっぱい大きくなってね♡
明智町
長谷川 玲菜ちゃん

学治さん・紗緒里さん
ゆっきー一歳おめでとう♡いつも皆に笑顔でくれてありがとう♡
山岡町
西尾 征将くん

良昭さん・美緒さん
祝一歳☆瑠来はパパとママの宝物だよ♡わんぱく瑠来大好き♡
岩村町
鈴村 瑠来くん

大さん・絵利子さん
一歳おめでとう♡笑顔いっぱい、幸せいっぱい大きくなあれ!!
大井町
加藤 慶大くん

純平さん・知代さん
悠ちゃん、お誕生日おめでとう♡元氣にいっぱい遊ぼうね。
大井町
芦沢 悠斗くん

和英さん・沙織さん
一歳おめでとう♡これから元氣にすくすく育ってね!!
山岡町
伊藤 蒼空くん

学さん・陽子さん
元氣いっぱいおめでとう♡わんぱくでもいい。たくさん育ってほしい。
串原
新井 楓也くん

陵馬さん・未千枝さん
一歳のお誕生日おめでとう!!ゆきな笑顔が大好きだよ。
岩村町
迫 優希奈ちゃん

浩喜さん・友里さん
藤佑がいると家族がいっつも笑顔になるよ!健康に育ちますように。
岩村町
藤井 藤佑くん

武信さん・純子さん
一歳おめでとう。これから元氣にすくすく育ってね。
長島町
芹澤 武尊くん

HAPPY BIRTHDAY
えなの子 笑顔!
1月生まれのお誕生日
おめでとう!

1歳になりました



輝く 99
 三郷町野井
 丸山龍雄さん 72歳

HUMAN WATCH



皇居の新嘗祭にアワを献上 一粒一粒、虫眼鏡で選別

「皇居を訪れる1週間くらい前までは緊張していました。皆さんのおかげでも貴重な体験ができました」と感謝する野井中央営農組合長の丸山龍雄さん。

丸山さんは同営農組合を代表して、皇居で行われる新嘗祭にアワ5合を献上した。新嘗祭は、五穀豊穣に感謝する宮中祭祀。各都道府県からコメとアワを献上する。市内から献殺者を選ばれたのは、16年ぶり。

20代後半から専業農家を営み、コメと、キュウリやナス、トマトなどの園芸野菜を栽培してきた。多いときは4畝の農地を耕作。平成12年に中山間地域等直接支払制度が始まり、集落の代表になった。「荒廃地や離農地をどうにかしないかん」とそれらの農地で大豆を作った。平成19年に「地域の農家みんなが生きる」という願いを込め、営農組合を設立。6人の作業員で大豆とコメ、ブロッコリーを栽培。ブロッコリーは東美濃農業祭で3年連続入賞している。

同営農組合は、市農業振興協議会から農業の実績が評価され、献納を依頼された。前年に献納した郡上市の農家から「もちあわ」の種を引き継ぎ、4坪の畑で栽培。「アワは見ただけでもなく、私たちに収穫できるのか」と心配した。

5月に、地鎮祭をして種をまいた。アワの芽を雑草と間違えて抜いたこともあった。アワには登録の農薬がなく無農薬で栽培。「穂にカメムシが付いて困った。栽培方法が分からず手探りだった」と苦労を話した。

9月に、剪定ばさみで穂を刈り取り40キを収穫。「脱穀が難しい」と聞いていたが、手もみで意外と簡単にできた。モチゴメとアワを一緒に精米。虫眼鏡とピンセットで、良質なアワを一粒一粒より分けた。26人が2日掛けて1升ほどを選別。「この作業が一番大変だった」と振り返る。餅にアワを混ぜると黄色い餅になる。来年もアワを育て、着色料としての利用を模索する。

お母さんが野菜になっちゃった



二葉幼稚園で11月29日、お母さんたちによる劇の鑑賞会が開催されました。お母さんたちは、手作りの衣装で「だいこんとにんじんとごぼう」を熱演。園児はいつもと違うお母さんの姿にワクワク・ドキドキでした。

シクラメンがまちを華やかに彩った



第19回シクラメンまつりと第9回恵那まちなか市が12月1日、市街地で開催され、約7,000人の人出でにぎわいました。まちを華やかに彩ったのはシクラメンの店。来場者は鉢を品定めしながら買っていました。

明智小の委員会活動を楽しく体験



明智小学校で12月5日、委員会フェスタⅡが開催。208人の児童は、全校を縦割りにした14の「とものわグループ」で、各委員会活動を体験。早口言葉やクイズなどに挑戦しながら、楽しく活動の体験ができました。

スケート場7周年で来場者50万人達成



11月25日、恵那スケート場の来場者がオープンから7年目で50万人に達しました。50万人目は瑞浪市の家族。記念セレモニーでは、くす玉を割った後、同スケート場のシーズン券や恵那の特産品が贈呈されました。

にぎわいの拠点の広場の完成を祝う



市街地のにぎわいの拠点として整備された「中山道大井宿広場」で12月1日、完成披露式が行われました。この広場は、東屋やせせらぎが設置された他、耐震性貯水槽や防災倉庫などの災害対策機能を備えています。

子どもが見事に演じた山岡歌舞伎



12月2日、山岡農村環境改善センターで第18回山岡歌舞伎公演が開催され、保存会の会員や一般有志、小中学生ら23人が出演。山岡小の児童ら8人は「由良湊千軒長者」を見事に演じ、会場を湧かせました。